

小規模多機能型居宅介護施設 きやま虹の家「サービス評価」 総括表

法人名	若狭町社会福祉協議会	代表者	山崎 和男	法人・事業所の特徴	若狭町初の「民家を改修した小規模多機能ホーム」であり、利用者さんには住み慣れた自分の家と同じような感覚で過ごして頂くことができる。また、常勤の正看護師が配置されており、機能訓練や褥瘡予防、体調管理等の助言などにも力を入れている。 また、地域の方には以前からのご近所づきあいのように、とれたての季節野菜、果物等の差し入れがあったり、そのいただいた収穫物で作ったお菓子でお礼をするなど、温かい交流を続けている。
事業所名	小規模多機能ホーム きやま虹の家	管理者	中畑 奈々江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	(1)人	人	4人	1人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	目に見える形で目標や興味のあること、続けていきたいことが分かるように、本人の写真と一緒に掲示するようにする。 事業所として、感染対策を十分にいき、安心して利用していただける環境を作る。 訪問内容の見直しを行い、その人に合わせた臨機応変なサービスの提供を行う。	利用視者の関心、興味のある事が見える形になるよう事業所内に「行こう、食べよう、やってみよう」という掲示を行った。できた事は写真を貼り達成感を得られるよう工夫した。 その日の体調等によって通いから訪問に切り替えるなどの対応も柔軟に行えた。	色々な企画を考え利用者を楽しんでいただこうという取り組みがあり良い。利用者の減少に対しては三方地域の一部を受け入れていくという事であるが、利用の希望はあるのか。	安心して利用、訪問していただけるよう感染対策の徹底を今後も継続していく。また、楽しみのある事業所作りを行い可能な限り行事等の取り組みを行う。 柔軟なサービスを提供できるよう、利用者の日頃の健康管理を継続し家族との連携に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防対策を徹底しながら、地域や小学校との交流が行える環境作りに努める。	コロナ対策としてマスクの着用、玄関での検温や消毒、換気やテーブルにクリアボードを設置し感染対策を行った。	玄関までは来たことはあるが、中に入ったのは初めて。用事がないと行く機会がない。	快適に心地よい環境作りに取り組み清掃や整理整頓を行う。 2階の利活用についても学校などの部活動等での使用を検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染予防対策を行い、地域で行われる行事に参加していく。また、小学校との交流会などはリモートなどを活用できないか検討を行う。 地域の奉仕作業などに参加し地域の一員としての活動を行う。	飲食を伴うにじカフェの開催が難しく変わりにレクリエーションや体操などをする「にじSUN」を企画し、町内でも感染が2週間以上ない等の取り決めを行い実施した。地域の方にも好評であった。小学校との交流はできなかった。	コロナ禍の中、地域行事も全て中止となっており今後のめどもない。また、公民館の行事も少人数であり殆どが中止となっている。今後はどのような関わりをしていくのか。	公民館行事などの再開に合わせて活動を再開し、休止中である「にじカフェ」についてはコロナの状況をみて再開する。 学校行事については、リモート等の活用も行いながら可能な限りで行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	買い物が必要な方には移動販売車の来る日には声を掛け、送迎や買い物介助を行う。また、サロンなどの活動に利用者と職員も参加し地域との交流を図る。	移動販売車でも買い物の介助や送迎など毎週行う事で、地域の方との話す機会も今まで以上に増えた。サロンへの参加は依頼があり参加できた。また、介護保険について話しを聞きたいという方への訪問も行った。	地域の中には一人暮らしの方も多し。以前は地域の中で関わりがあったのにコロナの影響は大きいと感じる。介護保険を申請していない人の利用はできないのか。	少人数での地域での活動やサロンへの参加などを行っていく。 また、介護保険を申請していただけない方でも虹の家を利用していただけるよう「にじSUN」を今後も継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の方からの相談ごとを運営推進会議の中で共有し、専門的な意見をいただきながら問題解決に取り組む。 感染予防対策を行い、運営推進会議から発案された「にじカフェ」の再開を目指す。	運営推進会議の中でも民生委員さんからの地域の方の情報共有できた。また、運営推進会議から始まった「にじカフェ」を違う形で再開することができた。	今は地域づくり協議会が水晶山に登ったり子どもの芋掘りなどを行っている。公民館で一緒に何かしてもいいのではないのか。上瀬区とは今まで何か交流はあるのか。ないのであれば一度話しをしてみるのはいかがでしょうか。	委員さんよりご意見いただいた地域づくり協議会さんとのコラボ企画に向け取り組む。 今後も「にじカフェ」や「にじSUN」の活動を継続し地域の方との交流の場としていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の避難訓練を今後も実施する。地域の防災訓練にはお誘いして頂き参加する。 災害発生を想定し、虹の家を利用している方の薬情報や既往歴、主治医などの情報を保管し災害時に活用していただけるようにする。	消防署の方に来て頂き消火器の使い方や災害時の避難についてお話しいただいた。地域の避難訓練はコロナ禍で縮小され、参加できなかった。 利用者の情報についても、全員分の作成には至らず更新についても検討が必要であった。	虹の家では利用者情報カードなどの何か情報になるものがあるのか。実際に一度、想定した訓練をしてみる事はいいと思う。	年2回の避難訓練に関しては、今後も継続し行っていく。 利用者情報については新しい情報が随時更新できるものを検討し作成する。